

第6学年 国語科学習指導案

- 1 単元名 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう
「平和のとりでを築く」「自分の考えを発信しよう」

2 本単元の目標

- 「原爆ドームは、後世まで、それを見る人の心に、平和を守っていく強い意志を築くための世界の遺産である。」という筆者の伝えたいことを読み取り、平和についての自分の見方・考え方を広げたり深めたりすることができる。
- 要旨をとらえるために、「自分の知識とつないで読む」という読み方を知るとともに、「段落と段落をつないで読む」「書き表し方の変化を読む」「文末を読む」読み方を使うことができる。
- 平和についての情報を収集し、自分の考えを明確に表現するために、文章全体の構成の効果を考えながら書くことができる。

3 学習指導の考え方

- 本学年の子どもたちは、これまでに「カレーライス」「やまなし」「生き物はつながりの中に」「森へ」の学習を通して叙述に即して内容を読み取ったり、文章構成の意図を考えながら主題や要旨を読み取ったりする学習をしている。これらの学習を通して、比喩表現に着目したり、まとめの段落を前の段落とつないだり、文章構成の意図を考えたりしながら読み取る力を身に付けてきている。しかし、自分の考えをまとめる際に、ことばを関連付けながら根拠を明らかにしていくことが苦手な子どももいるため、一つ一つの文章に立ち止まりながら指導していく必要がある。
- 本単元は、教材「平和のとりでを築く」を読む活動をもとにして、「平和」というテーマにかかわる材料を集め、自分の考えを明確に表現するために文章全体の構成の効果を考え、書きまとめ発信していく学習である。

本教材は、広島原爆ドームが世界遺産になった経緯と、「原爆ドームは、後世までそれを見る世界中の人々の心に、核兵器の使用、さらには戦争を許さず平和を守っていく強い意志を築くための世界の遺産なのだ。」という考えを伝えている説明文である。また、原爆ドームが世界の遺産となった道りが7段落から11段落まで書かれており、一少女の思いから世界の人々へと広がって世界遺産になったことを「段落と段落をつないで読む」読み方を使うことでとらえさせることができる。さらに、「原爆ドーム」が「建物」－「建造物」－「世界遺産」－「記念碑」－「世界の遺産」と書き分けられているという特徴があり、「書き表し方の変化を読む」読み方を使うことによって、筆者の認識の変化をとらえさせることができる。

- 指導にあたっては、まず、単元名、リード文、題名をもとに、平和についての考えを深め、自分の考えを発信していくという学習の構えをもたせる。読み通しの目をつくる段階では、題名の中に「とりで」という言葉が使われているのはなぜか、冒頭の文で筆者が「・・・年月を思わずにはいられなかった。」のはなぜかという疑問をもとに、「①原爆ドームは、世界遺産の仲間入りを果たすまでに、どのような年月をたどってきたのだろうか。」「②『平和のとりでを築く』で筆者は何を伝えたいのだろうか。」という読み通しの目を生み出させたい。予見の段階では、まず文章構成を確認し、原爆ドームがたどってきた年月を主語や指示語に気を付けさせながら年表にまとめさせ、読み通しの目①に対する予見をまとめさせる。次に、12、13段落から、読み通しの目②に対する予見をまとめ、13段落の最後の一文「原爆ドームは、それを見る人の心に平和のとりでを築くための世界の遺産なのだ。」をもとにして、読み確かめの視点をつくり学習計画を立てる。読み確かめの段階では、読み通しの目①で読み取ったことをもとに段落と段落をつないだり、また原爆ドームの書き表し方の変化を読みながら13段落の最後の一文を解釈させ筆者の伝えたいことをまとめていく。読みのまとめの段階では、題名に戻って筆者の伝えたいことをまとめ、筆者の考えに対する自分の考えを書きまとめさせる。発信する段階では、「平和のとりでを築く」の学習や教科書の資料をきっかけに、「平和」というテーマにかかわる材料を集めさせ、自分なりの考えをもち、各学年の掲示板や学習室に展示し、全校児童に発信させる。

4 学習指導計画（全14時間）

| 次時 | 主な学習活動 | 指導上の留意点 | 学習する読み方 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--|--|------|------------------------------------|------|---|------|---|------|--|------|--|------|---|------|---|-------|---|-------|-----------------------|--|--|
| 一 読み通しの目 | <p>1 単元名やリード文，題名を手がかりに単元の学習の構えをもつことを確認する。</p> <p>2 題名を読む。</p> <p>3 冒頭の読みをつないで，読み通しの目をつくる。</p> <p>読み通しの目</p> <p>① 原爆ドームは，世界遺産への仲間入りを果たすまでに，どのような年月をたどってきたのだろう。</p> <p>② 「平和のとりでを築く」で筆者は何を伝えたいのだろう。</p> | <p>○ これまでの平和学習や長崎への修学旅行での学習内容を想起させ，戦争や平和について知っていること，思っていることなどを引き出しながら，単元の学習の構えをもたせる。</p> <p>○ 本単元が説明文の読み，情報の収集，自分の考えの発信という構成になっていることをとらえさせる。</p> <p>○ 「とりで」という争いを想起させる用語をあえて使って「平和のとりでを築く」という題名にしていることに問題意識をもたせる。</p> <p>○ 「わたしは・・・年月を思わずにはいられなかった。」と語っていることに着目させ，「なぜ思わずにはいられなかったのか。」という問題意識をもたせる。</p> | <p>学習する読み方</p> <p>題名を読む</p> <p>冒頭を読む</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 二 予見 | <p>3 1 全文を読み，文章構成をとらえ，読み通しの目に対する予見をまとめることを確認する。</p> <p>2 読み通しの目①に対する予見を年表にまとめる。</p> | <p>○ 難語句について辞書を引かせたり，歴史的背景について補足説明したりする。</p> <p>○ 段落ごとの原爆ドームを表す言葉に着目させるとともに，時を表す言葉，事実を表す文末表現，「保存」「世界遺産」「決定」などの言葉をキーワードにしてまとめさせるようにする。また字数を制限して要約させる。</p> | <p>文章構成を読む</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>2 段落</td> <td>1915年，物産陳列館として完成した。</td> </tr> <tr> <td>3 段落</td> <td>小学生たちの絵や書の作品展の会場としても多くの市民に親しまれていた。</td> </tr> <tr> <td>4 段落</td> <td>1945年 8月6日午前8時15分，原爆が投下されドームに近い上空で爆発した。</td> </tr> <tr> <td>5 段落</td> <td>建物は真上から爆風を受けたため，全焼はしたもののれんがと鉄骨の一部が残り，丸屋根の部分は建物の最大の特徴となった。</td> </tr> <tr> <td>6 段落</td> <td>戦後間もないころ，原爆ドームを保存するのか，取りこわすのか広島では議論が続いた。</td> </tr> <tr> <td>7 段落</td> <td>急性白血病で亡くなった一少女の日記に後おしされて，市民も役所も「原爆ドーム永久保存」に立ち上がった。</td> </tr> <tr> <td>8 段落</td> <td>全国から保存を願う手紙や寄付が広島市にとどけられるようになり，補強工事が繰り返された。</td> </tr> <tr> <td>9 段落</td> <td>1992年，原爆ドームを世界遺産にしようという動きが高まり，市民中心の活動は全国へと広がった。</td> </tr> <tr> <td>10 段落</td> <td>世界遺産は文化遺産と自然遺産を大切に守るために世界各国が調査し指定する制度である。</td> </tr> <tr> <td>11 段落</td> <td>1996年，世界遺産決定の知らせが届いた。</td> </tr> </table> | | 2 段落 | 1915年，物産陳列館として完成した。 | 3 段落 | 小学生たちの絵や書の作品展の会場としても多くの市民に親しまれていた。 | 4 段落 | 1945年 8月6日午前8時15分，原爆が投下されドームに近い上空で爆発した。 | 5 段落 | 建物は真上から爆風を受けたため，全焼はしたもののれんがと鉄骨の一部が残り，丸屋根の部分は建物の最大の特徴となった。 | 6 段落 | 戦後間もないころ，原爆ドームを保存するのか，取りこわすのか広島では議論が続いた。 | 7 段落 | 急性白血病で亡くなった一少女の日記に後おしされて，市民も役所も「原爆ドーム永久保存」に立ち上がった。 | 8 段落 | 全国から保存を願う手紙や寄付が広島市にとどけられるようになり，補強工事が繰り返された。 | 9 段落 | 1992年，原爆ドームを世界遺産にしようという動きが高まり，市民中心の活動は全国へと広がった。 | 10 段落 | 世界遺産は文化遺産と自然遺産を大切に守るために世界各国が調査し指定する制度である。 | 11 段落 | 1996年，世界遺産決定の知らせが届いた。 | | |
| 2 段落 | 1915年，物産陳列館として完成した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 段落 | 小学生たちの絵や書の作品展の会場としても多くの市民に親しまれていた。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 段落 | 1945年 8月6日午前8時15分，原爆が投下されドームに近い上空で爆発した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 段落 | 建物は真上から爆風を受けたため，全焼はしたもののれんがと鉄骨の一部が残り，丸屋根の部分は建物の最大の特徴となった。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 段落 | 戦後間もないころ，原爆ドームを保存するのか，取りこわすのか広島では議論が続いた。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 段落 | 急性白血病で亡くなった一少女の日記に後おしされて，市民も役所も「原爆ドーム永久保存」に立ち上がった。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 段落 | 全国から保存を願う手紙や寄付が広島市にとどけられるようになり，補強工事が繰り返された。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 段落 | 1992年，原爆ドームを世界遺産にしようという動きが高まり，市民中心の活動は全国へと広がった。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 段落 | 世界遺産は文化遺産と自然遺産を大切に守るために世界各国が調査し指定する制度である。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 段落 | 1996年，世界遺産決定の知らせが届いた。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | |
|--|--|---|---|
| | <p>3 読み通しの目①についてまとめる。</p> | | |
| | <p>4 読み通しの目②に対する予見を書きまとめる。</p> | <p>○ 13段落を中心にまとめればよいことを助言する。</p> | |
| <p>三 学 習 計 画</p> | <p>1 1 予見②について話し合い、予見を確かめるための学習計画を立てることを確認する。 2 クラスの予見をまとめる。</p> <p>予見②の方向</p> <p>3 予見を確かめるための計画を立てる。</p> | <p>○ 13段落には、「平和のとりでを築く」というキーワードが入っていること、「記念碑」から「世界の遺産」へと言い方が変わっていること、文末で強く言い切っていることに目を付けさせ、13段落に重点をおけばいいことを確認する。</p> | <p>文末を読む</p> |
| | <p>読み確かめの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> 「それを見る人」とは誰のことを指しているのか。 「平和のとりでを築く」とはどういうことなのか。 「世界の遺産」という言い方をしているのはなぜか。 | | |
| <p>四 （ ○ 組 本 時 確 か め ／ 2 ）</p> | <p>2 1 読み確かめの視点に沿って、書き込みをする。</p> <hr/> <p>2 前時に読み取ったことを交流し、筆者の伝えたいことを読み確かめることを確認する。</p> <p>3 書き込みをもとに話し合う。</p> <p>(1) 「それを見る人」とは誰のことを指しているのか。</p> <p>(2) 「平和のとりでを築く」とはどういうことなのか。</p> <p>(3) 「世界の遺産」という言い方をしているのはなぜか。</p> <p>4 読み確かめたことをまとめる。</p> | <p>○ それぞれの視点について、根拠となる叙述を見つけていくように助言する。</p> <p>○ 「一少女」「市民」「全国」「世界の人人々」という叙述をつないで考えさせる。</p> <p>○ 「戦争は人の心の中で生まれるものである」という言葉を関連付けて考えさせ、平和学習、ニュースなどで得た知識とつないで考えさせる。</p> <p>○ 「建物」「建造物」「世界遺産」「記念碑」「世界の遺産」という書き表し方の変化から、筆者の認識の変化を読み取らせる。</p> <p>○ 「なのだ」という文末に着目させ、筆者の強い意志を読み取らせる。</p> | <p>書き表し方の変化</p> <p>段落と段落をつないで読む</p> <p>自分の知識とつないで読む</p> |

原爆ドームは、後世まで、それを見る世界中の人々の心の中に、核兵器の使用禁止、さらには戦争を許さず、平和を守っていく強い意志を築くための世界的に価値あるものである。

| | | | | |
|---|---|--|--|--|
| 五 | 1 | <ol style="list-style-type: none"> 1 これまでの読みを振り返り、筆者の伝えたいことについての自分の考えをまとめる。 2 自分の考えを交流し合う。 3 読み方をまとめる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 題名にもどって、筆者が伝えたいことを振り返り、今までの平和学習などとないで自分の考えを書かせる。 ○ グループでの交流を取り入れ、友だちの考え方を知ることによって、さらに自分の考えを深めることができるようにする。 | |
| 六 | 1 | <ol style="list-style-type: none"> 1 「平和」について自分の発信したい内容を決定し計画を立てることを確認する。 2 戦争や平和についての考えを話し合う。 3 発信する目的、相手、課題、方法を決める。 4 調べることを具体化する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「平和のとりでを築く」の学習や教科書41ページの資料をきっかけに、戦争や平和に関してもっと知りたくなったことや感じたことを出し合って問題意識を高める。 ○ 課題は具体的なものにするように助言し、一人一人が情報を集め考えをまとめていけるようにする。 ○ 事前に図書資料やインターネットのホームページを把握しておき、子どもたちが活用しやすいようにしておく。 | |
| | 2 | <ol style="list-style-type: none"> 1 集めた材料をもとに要旨をまとめることを確認する。 2 「仮の要旨」としてまとめる。 3 文章構成を考え、「確定した要旨」にまとめなおす。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 集めた材料をもとに、自分の伝えたいことのキーワードをはずさずにまとめさせる。 ○ 「平和のとりでを築く」の文章構成を参考にするように助言する。 | |
| | 2 | <ol style="list-style-type: none"> 1 自分の考えを書きまとめ、発信することを確認する。 2 文章構成に沿って自分の考えを書きまとめる。 3 書きまとめたものを推敲する。 4 推敲したものを発信する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 事実、感想、意見を区別する文末表現に気を付けて書くように助言する。 ○ 順序はいいか、付け加えたり削ったりしたほうがいいまとまりはないか、事実や引用はそれでいいかを見直させる。 | |
| | 1 | <ol style="list-style-type: none"> 1 「インターネットと学習」を読んで内容を確認する。 2 単元の学習の仕方を振り返りまとめる。 3 学習を終えた感想を書く。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分たちの生活とつないで考えさせる。 ○ 学習を通して深まった「平和」に対する考えや思いを大切に、今後も「平和」について考えていけるように意識付ける。 | |

第6学年〇組

5 本時 (1 / 14)

6 本時の目標

- 「平和のとりで」という表現に、筆者の伝えたいことが込められていることに気づき、「なぜ思わずにはいられなかったのか。」「なぜとりでという言葉を使っているのか。」という疑問から読み通しの目をつくることができる。
- 筆者の思いが込められている文をおさえ、それらを関連付けて読み通しの目をつくるために、「題名を読む」「冒頭を読む」読み方を使うことができる。

7 本時指導の考え方

本時は、戦争や平和についての考えを深め、自分の考えを発信していくという学習の構えをもち、題名と冒頭の読みを関連付けて読み通しの目をつくる学習である。

本時指導にあたっては、まず、単元名、リード文、題名をもとに、戦争や平和についての自分の考えを深め、発信していくという学習の構えをもたせる。

次に、題名「平和のとりでを築く」から分かることや疑問点について話し合う。その際、「とりで」の意味を辞書で調べさせたり、写真を提示することで、「とりで」は本来、味方の城を守り、敵の侵入を防ぐための要塞のことであり、争いを想起させるものとして使われていることを押さえ、争いを想起させる用語でありながら「平和のとりで」と書かれている点に注意を向けさせる。そして、冒頭の「平和を築く・・・」の箇所と比べて、その意味の違いの中に筆者のメッセージがあることに気付かせる。さらに、冒頭の「～たどってきた年月を思わずにはいられなかった。」という文末表現から、筆者の思いが込められていることを押さえ、「どんな年月をたどってきたのだろう。」という疑問をもたせる。

最後に、冒頭からの疑問である、筆者が「思わずにはいられなかった年月」が分かれば、題名「平和のとりでを築く」で伝えたい筆者の考えが分かるという見通しをもたせ、①「原爆ドームは、世界遺産の仲間入りを果たすまでに、どのような年月をたどってきたのだろう。」②「『平和のとりでを築く』で筆者は何を伝えたいのだろう。」という読み通しの目を生み出す。

8 板書例

9 本時の展開

| 時 | 学習活動と内容 | 指導上の留意点 |
|-----|--|--|
| 2 | 1 本時学習のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 単元名，リード文，題名から単元のめあてをもち，題名と冒頭から，読み通しの目をつくろう。 </div> | ○ 掲示している読みの学習過程を示しながら，本時学習の見通しをもたせる。 |
| 6 | 2 単元名，リード文，を手がかりに，単元の学習の構えをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 単元のめあて 戦争や平和についての考えを深め，自分の考えを発信しよう。 </div> | ○ これまでの平和学習や修学旅行での平和学習を想起させ，戦争や平和について学んだこと，思っていることなどを引き出しながら，学習の構えをもたせる。 ○ 本単元が，説明文の読み，情報の収集，自分の考えの発信という構成になっていることを知らせる。 |
| 1 | 3 題名「平和のとりでを築く」について話し合う。 ・ 辞書を使って「とりで」を調べる。 ・ 「平和」と「とりで」が 時に使われていることについて考える。 | ○ 「とりで」の意味を辞書で調べさせ，写真を提示することで，「とりで」は戦争の際，味方の城を守り敵の侵入を防ぐための要塞のことであり，争いを想起させる用語であることを解させる。その上で「平和」と「とりで」を 時に使って題名にしていることに問題意識をもたせる。 |
| 1 2 | 4 冒頭を読む。 | ○ 形 段落1を冒頭の文とし，題名を読んで，出された疑問の えを しながらか読ませる。 ○ 「原爆ドーム」を題材に述べられていることをとらえさせる。 |
| 1 | 5 題名と冒頭の読みをつないで，読み通しの目をつくる。 (1) 自分が考えた読み通しの目をもとに話し合い，クラスの読み通しの目をまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 読み通しの目 ① 原爆ドームは，世界遺産の仲間入りを果たすまでに，どのような年月をたどってきたのだろう。 ② 「平和のとりでを築く」で，筆者は何を伝えたいのだろう。 </div> | ○ 題名の「平和のとりでを築く」と，冒頭の「平和を築く・・・」の箇所と比べさせ，その意味の違いの中に筆者のメッセージがあることに気付かせる。 ○ 冒頭の「～たどってきた年月を思わずにはいられなかった。」という文末表現に着目させ，なぜこのような表現をしているのかを考えさせながら，筆者の強い思いが込められていることを押さえ，「どんな年月をたどってきたのだろう。」という疑問をもたせる。 ○ 筆者が「思わずにはいられなかった年月」が分かれば，題名「平和のとりでを築く」で伝えたかった筆者の考えが分かるという見通しをもたせられるように， でつないで板書する。 |
| 5 | 6 本時学習を振り返り，まとめる。 (1) 「今日の学習で」を書く。 (2) 代表児が発表する。 | ○ 「今日の学習で」には，話し合いの中で友達の考えから気付いた点を書かせる。 |

第6学年〇組

5 本時 (7 / 14)

6 本時の目標

- 「それを見る人」「平和のとりでを築く」「世界の遺産」という言葉の意味を考え、筆者の伝えたいことを読み確かめることができる。
- 筆者の伝えたいことを読み取るために、「自分の知識とつないで読む」読み方を知るとともに、「段落と段落をつなげて読む」「書き表し方の変化を読む」「文末を読む」読み方を使うことができる。

7 本時指導の考え方

子どもたちは、前時まで、筆者の伝えたいことを確かめるために、13段落の最後の一文をもとに3つの視点から書き込みを行い、自分の考えをもっている。

本時は、自分の書き込みをもとに3つの視点「それを見る人」とは誰か、「平和のとりでを築く」とはどういうことか、「世界の遺産」という言い方をしているのはなぜかについて話し合い、筆者の伝えたいことを確かめる学習である。

本時指導にあたっては、本時のめあてを確認し、3つの視点の話し合いの順序を確かめ、子どもたちが見通しをもって学習できるようにする。

筆者の伝えたいことを話し合う際には、まず、「それを見る人」とは誰のことかを「一少女」「市民」「全国」「世界の人々」を根拠にしている子どもの考えを段落と段落をつなげながら発言させていき、それを見る人の広がりが見えるようにする。また、7段落と12段落から未来の人々も指していることにも気付かせる。次に、「平和のとりでを築く」とはどういうことかを、ユネスコ憲章の中の「戦争は人の心の中で生まれるものである」と関連付けて考えさせる。「戦争は人の心の中で生まれる」とはどういうことかを、今までの平和学習やニュースで得た自分の知識とつないで具体的に考えさせる。そのことと筆者が「平和のとりで」という言葉を使ったことと関連付けて、「平和のとりでを築く」とはどういうことかを読み取らせるようにする。そして、「原爆ドーム」を「世界の遺産」と述べている筆者の考えの変化を「建物」「建造物」「世界遺産」「記念碑」の書き表し方の変化から読み取り、「原爆ドーム」を後世まで残すべき価値あるものととらえている筆者の考えを読み確かめさせる。また、文末の「なのだ。」に着目させ、筆者の確信している強い気持ちを読み取らせる。最後に、話し合った3つの視点をもとに筆者の伝えたいことをまとめ、友達の考えによって深まった自分の考えを代表児に発表させ、本時学習を振り返る。

8 板書例

筆者の大牟田稔さんは、原爆ドームは、後世まで禁ず、さらには戦争を許さず、平和を守っていく強い意志を築くための世界の大切なものなのだということを伝えたい。

後世にうつたえかけ
一少女
広島市民
全国
未来の世界で
世界の人々に
戦争は人の心の中で生まれるものであるから
原爆ドームは
平和のとりでを築くための
世界遺産なのだ
記念碑

「それを見る人」
「世界の遺産」という言葉の意味を考え、筆者の伝えたいことを読み確かめよう。

めあて
筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう
平和のとりでを築く 大牟田 稔

世界の人々
過去から見てきた人
今見ている人
未来の人々

憎しみや欲と戦うための強い心をもつ

世界に絶対一つしかない後世まで残す価値ある物
世界の人が守っていかねばならない大切な物

自分の知識とつないで読む

段落と段落をつなげて読む

書き表し方の変化を読む

文末を読む

9 本時の展開

| 時 | 学習活動と内容 | 指導上の留意点 |
|----|---|--|
| 5 | <p>1 本時学習のめあてを確認する。</p> <div data-bbox="256 356 777 553" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「それを見る人」「平和のとりでを築く」「世界の遺産」という言葉の意味を考え、筆者の伝えたいことを読み確かめよう。</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 3つの視点の話し合いの順序（①「それを見る人」とは誰か。②「平和のとりでを築く」とはどういう意味か。「世界の遺産」という言い方をしているのはなぜか。）を確かめる。 |
| 25 | <p>2 筆者の伝えたいことを話し合う。</p> <p>(1) 「それを見る人」とはだれのことを話し合う。</p> <p>(2) 「平和のとりでを築く」とはどういうことを話し合う。</p> <p>(3) 「世界の遺産」という言い方をしているのはなぜなのかを話し合う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 事前に子どもの書き込みを分けておき、意図的な指名も取り入れて話し合いを展開できるようにしておく。 ○ 「一少女」「市民」「全国」「世界の人々」を根拠として述べている子どもの考えを発表させそれをもとに話し合いを進めていく。 ○ 7段落（後世にうたえかけて）、12段落（未来の世界で）から、未来の人々をも指していることに気付かせる。 ○ ユネスコ憲章の言葉にある「戦争は人の心の中で生まれるものである」の意味を、今までの平和学習やニュースなどから得た知識と関連付けながら考えさせる。 ○ 「とりで」という言葉をなぜ用いているのかを考えさせる。 ○ 原爆ドームの書き表し方の変化から、その言葉に込められた筆者の思いを考えさせる。「建物」「建造物」「世界遺産」「記念碑」とつないで筆者の意図を読み取らせる。 ○ 文末の「なのだ」にも着目させ、筆者の強い思いが表現されていることを読み取らせる。 |
| 15 | <p>3 本時学習をまとめる。</p> <p>(1) 筆者の伝えたいことを書きまとめる。</p> <div data-bbox="244 1559 777 1832" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>筆者の大牟田稔さんは、原爆ドームは、後世までそれを見る世界中の人々の心に、核兵器の使用禁止、さらには戦争を許さず、平和を守っていく強い意志を築くための世界の大切なものなのだということを伝えたい。</p> </div> <p>(2) 代表児童の発表をもとに、本時学習を振り返る。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の考えの変容が分かるように、学習プリントを工夫し、自分の考えや深まりが実感できるようにする。 ○ 本時で使った「自分の知識とつないで読む」「段落と段落をつないで読む」「書き表し方の変化を読む」「文末を読む」読み方を振り返らせる。 |